Vol.50 2024.3 月発行

看護部キャリア支援室

つながり通信

2024年3月号

鹿内三起子副看護部長定年のご挨拶

定年を迎えるにあたり、皆様のご協力やご指導の下任務を遂行することができましたこと、感謝いたします。私は精神神経科病棟に採用となり、企業の病院に転職後、再び当院で第一内科、小児科・無菌部、脳神経外科・脳神経内科、泌尿器科、整形外科、看護部を経験させていただきました。1年目は先輩から新人類と呼ばれ、こんなに長く働くなんて思いもしませんでした。第一内科では終末期の患者さんとの経験から患者・家族の気持ちをきちんと確認することの大切さを学び、脳神経外科・脳神経内科では看護の力で患者さんの回復を手助けできる楽しさを実感しました。看護部では病床再編、共通床の運用変更、病院機能評価から始まり、マネジメントの苦しさと楽しさをたくさん経験させていただきました。働いていると様々な場面で辛いこと楽しいことをたくさん経験すると思いますが、皆さまが変化の時代を楽しみながら柔軟に対応し、長く働き続けられるよう願っています。

インターンシップ再開！！

コロナ禍で中止されていたインターンシップが、3月12日、14日、19日で実施され、令和7年度3月卒業見込みの看護学生さんが、計57名参加しました。まず、院内の施設内見学（中央部門・検査部門・外来）を行ってから各病棟に分かれ、先輩看護師の看護ケアの見学を行いました。その後は、病院の概要や大切にしている看護について岡林看護部長より説明を受け、みんな熱心に聞いていました。それから先輩看護師との交流会を行い、北海道大学病院を希望した動機やその後の成長について、夜勤のこと、患者参加型看護についてなど質疑応答を行いました。先輩の生き生きした姿を見て看護学生さんの目も輝いていました。「就職説明会のみではわからない実際の病院の様子や先輩の看護を見れてよかった」「北大に就職したい希望が強まった」などの声が聞かれていました。ご協力いただいた各部門、部署のみなさま、ありがとうございました。

キラキラ笑顔特集

接遇の良さや笑顔が素敵なスタッフを
各部署から募集しました！
人との関わりで大事にしていることを
教えてもらいました

★5−2　伊藤涼佳さん

人と関わることが好きなのでコミュニケーションを積極的に取るようにしています。

★6−2　野島昂生さん

患者さんとは、目線を合わせて目元だけでも伝わるような笑顔を意識しています。スタッフ同士でも「親しき中にも礼儀あり」と思って仲良くも礼節をもって接しています！

★11−2　山崎千奈美さん

（いつもマスクをしていて表情が伝わりにくいので、）マスク越しでも安心感が伝わるような笑顔を心掛けています。

★9−1　工藤彩夏さん（右）

目線を合わせて笑顔で明るく挨拶を行うことを大切にしています。

★9−1　佐藤唯衣さん（左）

患者さんが困っている様子があれば積極的に声をかけるように意識しています。

★4−1　岩間友珠希さん

目線を合わせて会話することと、相づちを打つことを普段から心掛けています。

★7−2　飯田朱音さん

相手のことを知ろうという意識で接しています。話す時は笑顔を心がけて話しています！